

令和6年度事業計画

及び

令和6年度収入支出予算

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団

令和6年度事業計画

- 1 本部事務局
- 2 熊本県身体障害者福祉センター
- 3 熊本県ひばり園
- 4 熊本県くすのき園
- 5 熊本県りんどう荘
- 6 熊本県身体障害者能力開発センター
- 7 熊本県社会福祉事業団相談支援事業所

1 本部事務局

1 概要

当事業団は、昭和50年7月に県立福祉施設の管理運営を目的として設立され、平成22年4月1日に民営化されました。令和6年度は、民営化の際に熊本県と締結した協定の「民営化後15年間は施設を運営する」という期間の最終年度となります。

民営化後、各施設とも国の制度改正等に対応しながら経営の安定化に努めてきたところですが、県との協定期間後の将来展望を明らかにするために、令和3年6月に中期経営計画（R3～R7年度）を策定（令和4年4月変更）し、今後の経営方針及び取組（実施計画）を示しました。

また、平成29年度に策定し所轄庁（熊本市）に承認された社会福祉充実計画（H29～R3年度）について、令和3年度に令和8年度までの新しい計画として見直しを行いました。これらの計画に掲げた取組（事業）を着実に実行していきます。

2 主な事業内容

中期経営計画の実施計画の進捗を管理しながら法人・施設経営の安定化と発展に努めていきます。

- (1) 利用者の視点【利用者に寄り添い自分らしい生き方ができるよう応援します】
 - ・ 利用者の人権・権利擁護の取組として、各施設において障がい者の人権・権利擁護に関する研修等を引き続き実施し、職員の意識向上を図ります。
- (2) サービスの視点【サービスの検証と向上に努め期待されるサービスを提供します】
 - ・ 利用者の満足度調査や資格取得の支援による職員のスキルアップ等によりサービスの質の向上に努めます。
 - ・ 感染症及び自然災害に係る事業継続計画（BCP）に基づくリスクマネジメントの強化により、安定したサービス提供体制を構築していきます。
 - ・ 介護支援機器やICTを導入し利用者サービスの向上と職員の負担軽減を図ります。
- (3) 地域・社会の視点【必要とされる福祉サービス等の提供を通して地域社会に貢献します】
 - ・ ひばり園が熊本市から受託して実施している「児童発達支援センター等機能強化事業」により、引き続き東区の児童発達支援事業所等のレベルアップと連携強化に努めます。
- (4) 法人・施設の視点【将来にわたって健全で安定した経営基盤の強化に努めます】
 - ・ 事業の維持・展開に伴う人員を計画的に確保するとともに、将来の法人・施設経営の中核となる人材の確保・育成に努めます。
 - ・ 利用者の生活環境の向上や職員の働きやすい職場環境づくりのために、第3期施設・設備整備計画や社会福祉充実計画に基づく施設・設備の整備を進めます。
 - ・ 令和7年度に法人設立から50年となることから、令和5年度に設置した検討委員会及びワーキンググループにより記念事業の実施に向けた検討を進めていきます。
- (5) 人材の視点【高い専門性と豊かな人間性を備えた人材の育成・定着に努めます】
 - ・ 令和2年3月に策定した基本方針に基づき人材の確保、育成及び定着を図るとともに、キャリアパスモデルと人事評価制度の公表により、モチベーションの維持・向上を図ります。
 - ・ 福祉・介護職員処遇改善支援事業補助金や令和6年度の障害福祉サービス報酬改定に伴う新たな介護職員等処遇改善加算を活用し、職員の処遇改善を図ることで、人材の確保及び離職防止に努めます。

- ・ 新たな社会福祉充実計画期間中に拡充した資格取得に対する助成制度の利用を促進することにより人材育成を図ります。
- ・ 働きやすい職場環境を整備するために、職員の健康管理・相談体制の確立に向けて嘱託産業医の設置や、病気や傷害等の療養のために休業した職員が可能な限り引き続き就業できるような支援のあり方等について引き続き検討していきます。
- ・ 改正育児・介護休業法の令和4年10月施行や育児短時間勤務の対象職員を拡充した育児・介護休業等制度の利用促進により、仕事と家庭の両立を支援します。

3 事業課の主な事業内容

熊本県身体障害者福祉センター及び熊本県障害者スポーツ・文化協会と密接な連携・協力のもと事業を実施していきます（詳細は身体障害者福祉センターから説明）。

2 熊本県身体障害者福祉センター

1 概要

熊本県身体障害者福祉センターは、昭和50年に熊本県から管理運営業務を受託し、平成18年度からは公募による指定管理者として選定され、障がい者の自立と社会参加を目的に各種相談をはじめ、健康増進や教養向上のためのスポーツ・文化教室等の開催やレクリエーション、スポーツ活動等の支援を行うとともに、障がい者への理解を深めるための啓発事業等に取り組んできたところです。

令和5年4月から新たに5年間（5期目）の指定を受け、引き続き法令・条例等に定める趣旨、目的に沿って管理運営を行い、相互に人格と個性を尊重し、ともに支え合う社会と豊かな地域福祉の実現のため、利用者一人ひとりを大切にし、利用者ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供と誰もがいつでも安心して利用できる施設づくりに努めていきます。

また、新型コロナウイルスの感染防止にも注意を行いながら事業に努めていきます。

2 主な事業内容（指定管理管理事業計画に基づく事業の実施）

(1) 福祉の増進を図るための取組

ア 各種相談事業

障がい者の自立更生のために必要な健康・スポーツ、福祉機器、社会活動、就業等に関する相談に対して、県、市町村、福祉団体等と連携したきめ細かな相談を実施します。

また、多様化する相談内容等に対するきめ細かな相談支援を行うために、専門的な研修会への参加など積極的な人材の育成を図っていきます。

イ 障がい者スポーツ・レクリエーションの推進

障がいの程度に応じた水泳や水中運動教室・スポーツ教室（パラスポーツ教室・ニュースポーツ教室）の開催やスマートフォンの活用方法・陶芸・茶道・料理・園芸教室などの文化教室の開催を通して、障がい者の健康増進や心身のリフレッシュを図るとともに、教養の向上と生活の質的向上を図ることにより、より豊かな地域生活を実現するための教室を開催します。

ウ 宿泊施設の運営

熊本市近郊で開催されるレクリエーション、研修、スポーツ大会への参加時や通院、休養等のための宿泊施設として低廉な料金で宿泊室を提供し、障がい者の活動を支援します。

エ リフトバスの運行管理

専用リフトバス「ゆう2号」を活用して、レクリエーションやスポーツ大会、研修会等への参加、バスツアー事業の実施により障がい者の地域活動を支援します。

オ 備品等の貸出

当センターが保有する設備・備品等を貸し出すことにより地域で活動する障がい者や関係団体等の社会参加の促進や活動を支援します。

カ 疑似体験事業

障がい者や高齢者への理解と認識を深めるため、おもり等の装具を装着してその不便さや不自由さを体験するとともにサポート方法を学ぶ障がい等の疑似体験事業を行

います。

キ ボランティア基礎講座

疑似体験及び手話等の講座を開催して、障がい者への理解と認識を深めるとともに、福祉センターが実施する事業や障がい者団体等が開催するスポーツ大会等への参加機会の拡大を図ります。

(2) 地域社会との交流と地域貢献する取組（地域における公益的な取組）

利用者間の相互交流を深めるとともに、近隣施設や小・中学校などの地域との連携を図り、利用者の社会参加を促進するために「福祉センター利用者交流会」等を開催します。

(3) 利用者サービス向上のための取組

ア スポーツ活動、健康づくり向上のための取組

これまでに開催したニュースポーツ教室の中で、特に利用者ニーズの高い種目を関係団体と連携して実施していきます。（フライングディスク・モルック教室等）

イ 文化活動推進のための取組

茶道や料理教室などのサークルと連携し「文化教室」を開催し、利用者や各サークル等の活動成果の発表の場、各サークル、団体等の交流の場として多目的に活用を図ります。

ウ 利用者ニーズの把握

利用者ニーズを的確に把握するために、利用者アンケート調査を行い、利用者のニーズに沿った質の高いサービス提供を行います。

エ ロビーを活用した交流の場づくり

外部福祉関係団体と連携し、パンや野菜の販売等を行い利用者の拡大、交流促進を図ります。

オ 施設利用（予約）状況の公表

施設の空き時間が容易に把握できるようホームページ上に1週間の体育館の利用状況を提供し利用者の拡大に努めます。

(4) 熊本県障害者スポーツ・文化協会との連携・協力

平成14年度から受託している熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局業務の円滑な運営を支援するため、協会主催の各種事業に人的体制を含め、協力するとともに、障がい者のスポーツ・文化教室などの事業についても連携を図りながら取り組んでいきます。

3 事業課での主な事業

(1) 熊本県障害者スポーツ・文化協会との連携・協力

障がい者スポーツ等の振興や各種サークル活動の効率的な普及を図るために、県からの依頼により、引き続き熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局の運営を受託します。協会主催の各種事業に協力するとともに、障がい者スポーツ・文化教室等の事業についても熊本県身体障害者福祉センターとの連携を図りながら取り組んでいきます。

(2) 熊本県障がい者スポーツ・文化関係事業の受託

事務局に事業課を設置して熊本県が主催する障がい者スポーツ・文化関係の2事業を受託し、熊本県身体障害者福祉センター及び熊本県障害者スポーツ・文化協会との連携により実施します。

【受託する事業】

① 「第23回くまもと障がい者スポーツ大会」開催事業

- ・令和6年4月21日(日) 水泳、フライングディスク(アクアドームくまもと)
- ・令和6年5月12日(日) ボッチャ(植木中央運動公園施設体育館)
- ・令和6年5月19日(日) 陸上(熊本県民総合運動公園)、
ボウリング(パスカワールド宇土)、
卓球(熊本県身体障害者福祉センター体育館)

② 第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」熊本県・熊本市選手団派遣事業

- ・開催期間：令和6年10月26日(土)～28日(月)
- ・開催地：佐賀県

3 熊本県ひばり園

1 概要

熊本県ひばり園は平成24年度から『多機能型障害児通所支援事業所』として、『児童発達支援』『保育所等訪問支援』の2事業による、きこえやことば・コミュニケーションに支援が必要な就学前の子どもさんへの療育を行っています。

令和6年度は児童福祉法改正と報酬改定が行われ、その中で当園のような児童発達支援センターは地域の支援体制の中核的な役割を担う施設として機能を充実させることが求められますので、以下のことについて取り組みたいと考えます。

- (1) 子どもさんの状況を客観的・的確に把握し、保護者との共通理解のもと子どもさんの能力を最大限に引き出せるよう様々な専門的な支援を行います。
- (2) 子どもさんと保護者へ質の高い支援を提供するため職員研修の充実を図ります。
- (3) 保育所等訪問支援事業、熊本県からの受託事業である難聴児療育拠点施設事業、熊本市からの受託事業である児童発達支援センター機能強化事業と熊本市療育等支援事業等を通して地域の関係機関との連携を図ります。

2 主な事業内容

【児童発達支援】（定員28名）

『児童発達支援ガイドライン』を踏まえて、下記の支援を行います。

(1) 聴能・言語・コミュニケーション能力向上に対する支援

障がいや発達の状態、家庭環境等を把握し、保護者との共通理解を持ち、個別支援計画に基づき、個別・集団療育による支援を行います。

ア 難聴児の支援については、聴力の評価、補聴器の選択、調整、人工内耳の装用指導や子どもさんに合った視覚的手段（手話・指文字・文字）を使用し、ことばやコミュニケーションの力を育てます。

イ アセスメントを生かし、子どもさんの個々に応じたコミュニケーション力や全体発達を育みます。

ウ 子どもさんを取り巻く関係機関と連携し、全体発達への支援を行います。

(2) 保護者への支援

保護者の希望と想定される子どもさんの希望をできるだけ尊重し、共通理解のもと個別支援計画を策定し、保護者と協同で療育を行います。

また、子育ての困難さから不安になりやすい保護者の思いに寄り添い、家庭訪問支援等の療育体制の工夫、相談支援事業所や行政との連携等、様々な家庭の事情に対応した支援を行います。

ア 保護者学習会・懇談会の開催

個々に合った子育てに必要な知識や家庭での関わりの方法等をお伝えするため、毎回の個別相談支援、定期的な外部講師・職員による学習会、保護者同士が連携して前向きな子育てができるよう保護者懇談会を開催します。

イ 基礎講座の開催

難聴と診断されて間もない子どもさんの保護者を対象に、熊本大学病院耳鼻科医による『聴覚障害の基礎的な知識』をテーマに講座を開催します。

（契約後随時）

(3) 虐待・身体拘束防止

虐待防止委員会を中心に研修会の実施や、『虐待・身体拘束防止チェックリスト』をもとに自分では気づきにくい行動を評価しチームで話し合う場を設け、改善に向けて取り組んでいきます。

また、処遇困難事例会議の随時開催、要保護児童の支援が必要になった場合は速やかに関係機関との連携を強化し、虐待が防止できるよう努めます。

(4) 卒園後の支援

卒園時には移行支援の一環として就学先への情報提供書の作成や支援会議への参加、卒園後は聴力検査会(難聴児のみ)や懇談会、在園児との交流会等卒園後も子どもさんや保護者が集う、相談できる、繋がる機会を設けます。

(5) 関係機関との連携

「熊本市療育支援ネットワーク会議」「東区発達支援ネットワーク会議」「熊本市障がい者自立支援協議会子ども部会・本会議」「熊本県新生児聴覚検査推進検討会」「熊本市発達障害者地域支援協議会」等に参加し、各関係機関と連携を取りながら、子どもさんや保護者への支援の充実を図ります。

(6) 実習生、ボランティアの育成、活用

療育時に同伴したきょうだいの保育や保護者学習会時に職員と共に園児の保育、卒園児による体験発表会などのボランティアを活用します。

また、言語聴覚士、保育士等の養成機関の学生を実習生として受け入れます。

(7) 職員の資質の向上

職員のやりがい得られるよう個々の単年度の目標を定め、園内外の研修や支援会議などを通して専門性の向上に努めます。

園外研修としては、療育や保護者支援に関する専門的な内容、福祉職員としてのキャリアアップに必要な内容に関して、最新の知識や技術の習得のためオンラインを含む県内外の研修に参加し、園内で研修内容の報告を行い職員全体の資質の向上に努めます。

また、園内研修では外部講師による『発達障害児の理解と支援』や『保護者支援』等をテーマにした全体研修会、自主的に学びたいテーマに沿って開催する自主研修会、感染症予防、緊急時の対応や虐待・ハラスメント等に関する研修を通して専門性を高め実践に生かしていきます。

【保育所等訪問支援事業】

『保育所等訪問支援の効果的な実施を図るための手引書』を基に保護者からの依頼により、利用児の在籍する保育園・幼稚園を訪問し、情報交換や関わり方についての助言を行うことにより、身近な地域(生活の場)でのコミュニケーション力、全体発達を共に育てます。また、必要に応じて、地域の関係機関との連携をとります。

(1) 保護者の希望をもとに作成した個別支援計画に沿って、園を訪問し子どもさんへの直接支援、間接支援を行います。

(2) 訪問時の様子や支援内容について保護者に内容を説明後、訪問園にも報告します。

また、幼稚園・保育園の先生方を対象に当園の療育見学と情報交換を行う連絡会を随時開催し、保護者の了解のもと支援の確認を行うなど連携を図ります。

3 収入確保のための対策

毎月の利用件数目標と実績を確認しながら、以下のような具体的対策により利用回数を増やすことで収入増に繋がります。

- (1) 職員がペアを組み、利用可能な時間枠を増やし振替しやすくするなど通園しやすい体制を工夫します。
- (2) 感染対策を行いながら定期的に行事を開催し、楽しみを増やすとともに、経験活動を通してやりとりやことばの育ちに生かします。
- (3) 通園困難なご家庭に対して、関係機関と連携し、可能な限り訪問を実施します。

4 利用者サービスの充実と安心して療育を受けることができる体制づくり

「福祉サービス第三者評価」、「令和5年度保護者等からの事業所評価」の結果を受け、会議で話し合い、ハード面ソフト面の改善、サービスの質の向上に努めます。

- (1) 支援会議を充実させ、処遇困難事例については園全体で支援に取り組めます。
- (2) 園内の安全面・衛生面について、令和6年度から義務化される「安全計画」をもとに、安心して療育が受けられるよう環境整備を行います。
- (3) 保護者や閲覧者が必要な情報を得やすいようホームページを充実させ、ご利用と周知に努めます。

5 熊本県・熊本市障害児等療育支援事業の実施

熊本県から「難聴児療育拠点施設事業」を受託し、県下全域の難聴児を支援する拠点施設として外来療育相談を行います。

また、熊本市から「児童発達支援センター機能強化事業」を受託し、熊本市、熊本市子ども発達支援センター、市内5か所の児童発達支援センター、東区の基幹相談支援センター等関係機関と連携しながら、東区内の指定障害児通所支援事業所の巡回訪問と研修の実施、ネットワークの構築として定期的な連絡会の開催や広報誌を発行する等、共に事業所同士の資質の向上と連携を目指します。

さらに、障害児等療育支援事業を受託し、支援につながる前の子どもさんや保護者の相談支援を行います。

6 地域における公益的な取組

支援につながる前の子どもさんや保護者が集う場として「ひばり園広場」を定期的で開催し、子育ての不安解消ができるよう支援します。

また、東区発達支援ネットワークで発達の気になる子どもさんの保護者の学びと交流の場として開催されている「りらくまカフェ」に参加し研修や相談を受けます。

7 苦情処理の対応

日頃から利用者からの苦情や相談が出しやすい雰囲気づくりを心がけ、苦情が出された場合は当園の苦情解決実施要領に則り、適切に解決できるように努めます。

8 非常時の業務継続計画、訓練、研修等の実施

感染症対策委員会、虐待防止委員会、安全対策委員会を中心に情報収集と利用者

の意向を確認しながら対策を周知し、利用者が安心して過ごせるよう取り組みます。
また、職員の安心安全も確保し、働きやすく自己研鑽できるよう職場環境を整え、
人材育成、人材確保につながるよう努めます。

4 熊本県くすのき園

1 概要

熊本県くすのき園は、昭和56年10月に開設され本事業団が熊本県から管理運営を受託し、重度の障がい者に対し社会復帰と自立に必要な作業訓練・生活支援等、利用者のニーズに沿ったサービスを提供してきました。

平成19年4月から新事業体系に移行し、その都度実態に合わせて事業の検討を重ね、施設入所定員を50名から30名に減じ、グループホーム・ケアホームへの地域移行を図る等、利用者のニーズに合わせた事業展開を実施してきました。

令和5年度には就労継続支援B型事業で、利用者の加齢による身体機能低下のため、入浴介助やリハビリ目的での生活介護や介護保険の併給利用者が増加し、利用率の低下が顕著となったことで、定員を30名から20名に見直しました。

現在は、就労継続支援B型事業が定員20名及び生活介護・施設入所支援事業が定員30名で実施しています。

令和6年度も引き続き、利用者一人一人に寄り添い、ニーズに応じたサービスを提供していきます。また、新型コロナウイルス感染症等の感染症及び自然災害を想定し、業務継続計画（BCP）を基に事業継続のための対策を講じます。地域貢献への取組として、地域交流と花筵製造・販売を通じて地域のい草文化の活性化に取り組みます。

2 主な事業内容

(1) 指定障害福祉サービス事業所

就労継続支援B型事業（20名定員）

就労経験がある方で、年齢や体力面で一般企業等に雇用されることが困難になった方、就労移行支援事業を利用した結果B型の利用が妥当と判断された方、既に50歳に達している方、または障害基礎年金1級受給の方を対象に、利用者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう生産活動やその他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他の便宜の供与を適切かつ効果的に行うよう努めます。

[生産活動支援]

ア 利用者に適した作業科目や作業量の確保及び作業の効率化を図り、安定的に工賃が支給できるように努めます。

イ 利用者一人ひとりの能力を最大限に引き出すため、本人の意向、適性、障がいの特性などを考慮して適正な配置と作業分担に努めます。

ウ 作業場の整備を図り、安全で働きやすい環境作りに努めます。

① 花筵製造科

令和5年度にい草製品の新ブランドとして起ち上げた、「イイイ（いいね いい色香 いいい草）」製品と、各種受賞歴があり、最も販売量の多い「い草コースター」等、熊本県の特産品として付加価値のある商品づくりを展開し、い草小物製品のPR活動と販路拡大、新製品開発に努めます。

熊本県アグリシステム総合研究所を事務局として、くすのき園及びい業関連団体で構成する「熊本い草デザイン開発研究会（以下「デザイン研」という。）」の活動である、熊本県伝統工芸館で開催される「熊本い草工芸展」への出店や、地域における公益的な取組として、デザイン研メンバーの出店を主とした、「くすのきマルシェ」を開催し、地域のい草文化の活性化に貢献します。ホームページやSNSにより情報を発信することで、くすのき園の認知度向上と販売促進を目指します。

樹脂製品（PP）の発注元からの各種注文に対応し、増産に取り組みます。また、樹脂製品の製造で発生する樹脂端材を加工納品し、規格外製品は再生事業者に納めることで、産業廃棄物を出さず環境保全及び資源循環に役立てます。

② 自動車部品科

自動車部品科では、ホンダの各種部品の組み立て作業を行っています。
品質管理を徹底し、正確な作業と納品及び収入増を目指します。

③ 庭園管理業務

くすのき園の庭園管理を年間通して受託して行います。

[生活支援]

レクリエーション（花見、新年会等）やくすのきマルシェ等への参加により、地域住民との交流、社会生活力の向上を目指します。

緊急時等、必要に応じて病院受診支援や相談支援事業所等、関係機関等と連携した支援を行います。

グループホーム利用者及び近隣の利用者に対しては、送迎を実施し利便性を確保します。

利用者通所状況（29名）	地域別利用者通所状況（29名）
<ul style="list-style-type: none"> ・りんどう荘 21名 (グループホーム) Ⅰ 男性4名 女性2名 Ⅱ 男性4名 Ⅲ 男性5名 Ⅳ 女性6名 ・他のグループホーム 1名 男性1名 ・自宅 5名 男性3名 女性2名 ・くすのき園入所 2名 男性2名 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇城市 26名 ・八代市 1名 ・宇土市 2名

(令和6年2月1日現在)

[苦情対応]

週1回の相談日、月1回の利用者との懇談会を設け利用者の相談、要望、苦情等の対応を行います。苦情受付窓口として、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を施設内数ヶ所に掲示し、誠意をもって解決に努めます。

(2) 指定障害者支援施設

○生活介護事業（30名定員）

常時介護等の支援が必要な方で、障害支援区分3（併せて施設入所支援を利用する場合は区分4）以上である方、または年齢が50歳以上で、障害支援区分2（併せて施設入所支援を利用する場合は区分3）以上である方を対象に個々の状態やニーズを的確に把握し、各種サービスを提供することで利用者の方々の充実した日中活動を支援します。

ア 日常生活支援

食事、入浴、排泄、服薬、居室の清掃、衣類の着脱、洗濯、整理等を支援し、日常生活を安心して快適に過ごせるように支援します。

イ 健康管理

定期健康診断や通院支援、服薬管理及び毎日のバイタルチェック等により健康管理を支援します。

ウ 機能訓練

嘱託医の指示のもと作業療法士等によりリハビリ機器を活用した機能訓練を実施し、身体機能の維持に努めます。

また、訪問歯科医によるミールラウンドを実施し、咀嚼・嚥下機能の評価を行います。毎食前には嚥下体操の支援を行い、嚥下機能維持・向上の支援を行います。

e-スポーツを活用し、身体機能・認知機能・社会性向上等を目的とした支援を行います。

エ 介護用ロボットの活用

移乗サポートロボットの活用により介護を受ける利用者の自立を支援するとともに介護を行うスタッフの身体及び精神的な負担軽減を図り、より働きやすい職場環境の整備に努めます。

オ 生産・その他の活動

生産活動では、フルーツネットの折り返し作業を行い、工賃として支給します。

余暇活動として、習字、カラオケ、e-スポーツ等の趣味活動支援を実施し、充実した余暇活動を提供することで、楽しみや生きがいづくりを行います。

一人ひとりの希望する外出先に応じた、外出レクリエーションを提供します。

カ 送迎支援

通所利用者の送迎支援を行います。

キ 職員研修

毎月職員研修を開催し、職員のスキル向上、知識の獲得、職場定着率の向上等に努めます。

ク 苦情対応

週1回の相談日、月1回の利用者との懇談会を設け利用者の相談、要望、苦情等の対応を行います。苦情受付窓口として、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を施設内数ヶ所に掲示し、誠意をもって解決に努めます。

○施設入所支援事業（30名定員）

生活介護事業を利用するために入所された利用者を対象に、日中活動と併せて夜間等における排せつ、食事及び就寝・起床等の介助を提供して利用者の方々が安心して潤いのある生活が送れるよう必要な支援を行います。

夜間は、男性・女性各1名の生活支援員が勤務し、24時間体制で同性介助での利用者の支援を行います。

全館Wi-Fi環境を整え、デジタルインカム及びネックスピーカーの導入により、ナースコールや緊急時に、より迅速に対応できる環境づくりに取り組みます。

ア 住環境の確保

居住棟の廊下窓の飛散防止を行い、台風等の自然災害時の対策を強化します。今後も利用者の方が安心して快適な生活ができるように施設整備に努めます。

イ 給食支援

平成30年度から給食業務を外部委託とし、安定・継続的な給食の提供に取り組んでいます。

利用者の意見や要望を反映させるため年2回の嗜好調査を行い、定期的に委託業者と給食委員会を実施します。

利用者の状態に合わせた食事形態への対応や行事食、緊急時の食事提供等、業者と園で連携し、安心・安定・充実した食事提供を行います。

ウ 緊急時の支援

緊急時における緊急連絡網を整備し、火災を想定した避難訓練及び救急講習を定期的を実施します。自然災害や感染症等を想定し、業務継続計画（BCP）を基に事業継続のための対策を講じます。

（3）地域における公益的な取組

地域住民や福祉施設等に広く参加を募り、デザイン研会員出店によるい草製品の展示・販売会、近隣の福祉施設等によるバザー、eスポーツ体験等を行う「くすのき園マルシェ」を開催し、地域交流及び地域のい草文化の活性化に努めます。

(4) 感染症予防対策

業務継続計画（BCP）を基に、平常時の感染防止対策を徹底し、感染症発生時も人命の安全確保と必要なサービスが安定的・継続的に提供できる体制を構築します。

5 熊本県りんどう荘

1 概要

熊本県りんどう荘は、身体障がい者の福祉の増進を図ることを目的に、全国初の身体障害者福祉ホームとして昭和61年に設置され、管理運営を熊本県から受託してきました。平成22年度に民営化され、同時に経営の見直しを行い、サービスの徹底と経営の安定を図るため、障害者福祉ホームから障害者グループホームへ移行しました。平成23年度には賃貸借契約により住居を3棟追加して定員を20名から37名へ変更し、現在、介護サービス包括型グループホームとして運営しています。

現在、令和2年度からの5年間で、利用者の生活に直結する施設設備の整備を主に取り組んでおり、令和4年度までに昭和61年の設置当初から使用しているりんどう荘Ⅰの浴槽・浴室の改修や老朽化した浴室給湯用のボイラーの更新などを実施し、併せてりんどう荘Ⅰの男女浴室の手摺設置やりんどう荘ⅡⅢⅣのホールやベランダから避難するためのスロープ設置、防犯カメラの設置などの安全対策を行いました。

直近の令和5年度は、りんどう荘Ⅰの正面玄関に設置している自動ドアの更新及びりんどう荘Ⅰの居室のエアコンの一部更新と、日勤職員5名には手狭となっている事務室の増築を行いました。

なお、整備計画の最終年度の令和6年度は、りんどう荘Ⅰの給水設備の揚水ポンプと水中ポンプの更新を予定しておりましたが、排煙装置の一部に老朽化に伴う動作不具合が発生したため、緊急性の高い排煙装置の更新を優先して実施することになりました。

この他、入居者の健康管理及び身体機能の維持に必要な取組として、引き続き新型コロナウイルスに対する感染防止策の徹底を図り、入居者が安全で快適な地域生活が送れるように支援の充実に努めます。

なお、りんどう荘の今後の方向性について、令和5年度から配置することとした看護師による利用者の健康管理体制を充実し、賃借の木造住宅3棟については、当面賃貸借契約を継続しながら施設の主体的な管理実現のため買取の協議を進めるなど、入居者の安心・安全で快適な生活環境の実現に努めます。

2 主な事業内容

(1) 主体性のある自立的な生活への支援

ア 住環境の整備について、令和6年度は、設立当初から稼働しているりんどう荘Ⅰの給水設備の揚水ポンプと水中ポンプの更新を予定しておりましたが、令和5年度に排煙装置の一部が動作不具合となり正常に作動できない状態が発生しましたので、排煙装置の更新による安全確保が利用者にとって最適と判断し優先して更新します。また、りんどう荘Ⅰの各居室の空調機（エアコン）も老朽化し、昨年も一部不具合が生じ取り換える状況となっておりその他の居室についても同様の状況にあることから、更新することとし、安全で快適な生活環境を整えます。

イ 自立した社会生活ができるように、日常的な生活の悩みをはじめ様々な社会資源の不明な点について相談に応じ、問題の解決や情報の提供に努めます。また、身体上等の理由による身の回りの支障やコミュニケーションの支障について支援を行います。

(2) 安全な生活を送るための支援及び介護

ア りんどう荘の入居者の現状は、令和6年3月現在で平均年齢が56歳9月、平均障害支援区分が2.67ですが、特にりんどう荘ⅡⅢⅣの平均障害支援区分は3.4と高くなっています。また、加齢に伴う身体機能の低下や病気の悪化による医療受診は増加傾向にあり、支援、介護も増えており、医療的な支援サービスの充実が必要不可欠なものとなっています。

併せて、賃借の木造住宅3棟（りんどう荘ⅡⅢⅣ）は、令和4年度末と令和5年9月末に賃貸借契約（年間506万4千円）を継続しておりますが、当面は各年での更新を行い、今後については、将来の負担軽減による主体的な維持管理が可能となる資金調達による買取を行うなど、費用対効果を検討しながら協議を進めます。

イ 入浴や洗濯物干し、薬付けなど日常的な生活動作において、安全に確実にを行うことができるように障害の区分・程度に基づいて、状況に応じた必要な支援及び介護を行います。

ウ 定期的な服薬や医療機関への受診について、入居者のニーズに応じて、看護師2名による服薬

の確認、医療機関への同行など必要な支援を行います。

- エ 買物の同行支援について、利用者の障害に応じて、また交通事情による危険回避のため実施します。その他、買物を代行する支援を行います。
- オ 福祉車両については、令和3年度から軽の公用車3台体制となり、通院や買物の送迎を中心に稼働しており、事務用にも使用することも支障なく円滑に運用できております。
- カ 金銭管理について、利用料を始め日々の生活費の支払が安定せず、計画的にできないときは、その都度相談支援を行うほか、預かり金制度により支援を行います。
- キ 上記の支援を円滑に実施するために、グーグルアースの行事予定表及びチャットを使用して職員の情報共有を行っています。

(3) 健康生活、緊急時等の支援

- ア 作りたての家庭食により健康生活が維持されるよう、食事提供を通じた支援を行います。嚥下障害のある場合は、刻み食など個別に支援を行います。また、四季折々の日本の風習に合わせた季節の食事や熊本の郷土料理を献立に取り入れて、地域色豊かな楽しい食事になるよう2カ月置きに食事提供会議を開催して献立に反映させています。
- イ 身体機能の維持について、継続的な取組を行うとともに、看護師2名配置による1人ひとりの健康管理を徹底して行います。加齢からくる機能の低下に対しては、医療保険による訪問リハビリ、介護保険や障害福祉サービスによるリハビリなどを活用するよう支援に努めます。その他、機能の低下を原因とする体調不良や病気の悪化により入院治療する事例が複数発生しています。このような場合には事前に身元引受人へ報告して対処しており、着替えの洗濯なども丁寧に支援を行います。
- ウ 急な体調の不良などが起きたときは24時間の対応を行うとともに、就労先等への連絡、調整を図り、医療機関への通院や看護の支援を看護師が行います。また、身元引受人へ報告し、必要に応じて支援を仰ぎます。その他、緊急時の対応について、従業員の緊急連絡網に基づいて適切に行うとともに、(2)の⑦で記載したグーグルアースのチャットによりリアルタイムで利用者の状況を共有し必要な対応を行います。

(4) 防災意識の啓発、防災及び防犯設備

- ア 防災意識の啓発と安全を確保するために、入居者による自衛消防隊を編成し、消防訓練を実施します。また、火災を想定した訓練に加え、地震、風水害を想定した訓練を行います。
- イ 防災設備について、りんどう荘の4棟全てにセコム火災監視サービス・非常通報サービスを導入しているほか、自動火災報知設備を整備しています。特に、りんどう荘Iについては、非常点灯装置を全居室に整備しており、入居する聴覚障害者の災害の発見・避難に遅れがないよう配慮しています。
- ウ 防犯設備について、暴漢が侵入した場合は、固定式若しくは携帯式のスイッチを押すことでセコムから警察署へ自動通報されます。そのほか、簡易の防犯ベルを携帯することにしています。また、令和4年度は、不審者の侵入抑止効果を高めるために防犯カメラをりんどう荘各棟に設置しました。

(5) 共同生活の促進

- ア 相互に協力した清掃活動、共通の話題・問題を話し合う懇談会等については、コロナ禍の中で三密を避けることから、令和5年度の5月まで開催を見合わせていましたが、毎月1回開催します。
代わりに実施していましたが各棟から選ばれた利用者代表との意見交換は終了しました。
懇談会では、入居者の意見を発表し、併せて、各棟に設置している意見箱をこの懇談会の場で開封して内容を確認することにより円滑な共同生活を促進します。
- イ 地域生活をより充実させるために、四季折々の風習に則る行事を楽しむよう支援します。
- ウ 豊福地区、久具地区の区民として各地域行事への参加や地域住民・ボランティアとの交流などを促進します。
- エ 各種のイベントや趣味の情報などの提供に努め、コロナ禍の中の余暇活動を支援します。

(6) 地域における公益的な取組

「Enjoy Life! りんどう荘」の実施に当たっては、感染症の状況を見極めた上で、開催か否かを判断します。開催する時は地域の機関を通して広報し、当日、地域・近隣の方を対象に、日頃りんどう荘が行っているサービスやノウハウについて紹介し、支援、介護の業務がどのようにご家庭でも活用できるか等、相談を通して提供します。

なお、令和5年度に実施した「くすのき園マルシェ」との同時開催が可能な場合は、同様の実施を検討します。

(7) 行政手続等の支援

障害により自分で行政手続等を行うことが困難な利用者や、平日が勤務で時間の取れない利用者の利便に供するため、各種の行政手続の代行について支援に努めます。

(8) 苦情相談、虐待防止・権利擁護体制の確立

入居者より事業所の提供するサービスについて苦情があったときは、「苦情相談体制」により苦情相談を円滑、円満に解決します。

虐待防止・権利擁護について、当事業団の虐待防止マニュアルに則り、日々倫理意識を高めるとともに、毎月研修を行います。併せて、個人情報保護についても同様に定期的に研修を行います。

(9) 職員の資質の向上

職員の資質の向上を図るため、研修の充実を図ります。内部の研修は毎月、職員が交替で講師を担当して実施します。また、外部の各種研修会への参加を促進します。

(10) 経営の安定

事業所の円滑な運営を図るため、関係する法律、規則、制度の変更など常に情報の収集に心掛けるとともに、関係機関との密接な連携の下で、経営の安定に努めます。

(11) 新型コロナウイルスに対する感染防止策の徹底

令和4年12月には、りんどう荘Iにおいて、新型コロナウイルス感染クラスターが発生しましたが、令和5年度は、職員2名の陽性判定のみで、利用者の感染はありませんでした。

今後も熊本県を始め関係機関の通知、指示、情報に従い、職員・利用者の感染防止の徹底に努めます。日常における感染防止への対応は細かく徹底して行います。

なお、共同生活の場を提供するグループホームでは、外出については、日中活動以外本人の責任において行動しており、感染の恐れのある密になる場所への外出を控えるなど入居者への周知徹底を行っています。

また、万一新型コロナウイルスの陽性者が発生した場合は、感染状況を迅速に把握して、速やかに管轄保健所へ連絡しますが、指示待ちではなく、感染者と他の入居者、職員との接触機会を可能な限りなくし、防護服使用や必要な消毒処理を行い、抗原検査など自らできる対応を行うこととしております。

6 熊本県身体障害者能力開発センター

1 概要

熊本県身体障害者能力開発センターは、平成22年度から自立訓練（機能訓練）事業30人、生活介護事業10人、施設入所支援事業30人で新事業体系へ移行しましたが、自立訓練（機能訓練）事業においては、利用者の施設利用期間が従来の3年間から1年半に短縮されたことや介護保険の対象となる特定疾病の方が介護保険を優先的に利用することとなったことにより、自立訓練（機能訓練）事業の利用者確保が難しくなりました。

その状況に対応するため、平成25年度から26年度にわたり、自立訓練（機能訓練）事業の定数を30人から15人に、生活介護事業の定数を10人から25人に変更いたしました。

また、令和5年7月からは生活介護事業人員配置体制加算（+53単位）と、常勤看護職員等配置加算（+9単位）の単価を上げるため生活介護事業の定員を20名に減らしております。

一方、令和4年1月からは自立訓練（機能訓練）事業を介護保険の共生型サービスとして指定を受け、介護保険対象者の受入体制を整えています。さらに、令和4年度に居室の個室化工事を行い環境面の整備も進めてまいりましたが、自立訓練（機能訓練）事業の利用率は低い状態が続いています。

引き続き、新規利用者を受け入れるため、回復期リハビリテーション病棟のある病院をはじめ、相談支援事業所など関係先へ働きかけを強化し、事業構成の見直しを含め、利用率の向上を目指してまいります。

2 主な事業の内容

(1) 日中活動

○自立訓練（機能訓練）事業及び地域密着型通所介護事業（定員15人）

自立した日常生活・社会生活を送れるよう、身体機能の向上等の訓練を行います。

※自立訓練（機能訓練）の利用期間は18ヶ月ですが通所介護には利用期限はありません。

○生活介護事業（定員20人）

日常生活において介護を必要とする利用者に入浴・排泄・食事等の身のまわりの支援を行います。（障害程度区分3（施設入所支援を受ける方は区分4）以上、年齢が50歳以上の方は障害程度区分2（施設入所支援を受ける方は区分3）以上である方が対象となります。）

自立訓練（機能訓練）事業及び生活介護事業利用者に対して次の支援を実施します。

ア 機能訓練

リハ嘱託医の指示のもと理学療法士等により利用者の身体機能の維持・向上の訓練を行います。

また、社会適応性を高めるために、車いす操作訓練、自助具や装具の利用支援、車いすや補装具等の申請、補装具修理や住宅改修の支援も行います。外出訓練についても積極的に行います。

イ 社会的・心理的リハ

利用者が社会生活力を高め、地域生活へスムーズに移行し安定した生活ができるよう住まい及び日中活動の場の支援を行います。

また、利用者の社会生活の再構築のため相談業務に力を入れ、モチベーションの向上を図るとともに、傷病手当金、障害年金、雇用保険及び生活保護申請等により経済的基盤の確立を支援します。

ウ 健康管理に対する支援

定期健康診断や通院支援、服薬管理、栄養管理及び毎日のバイタルチェック等により健康管理を支援します。生活介護事業利用者に対しては、月1回嘱託医の診察があります。

エ 日常生活支援

食事、口腔ケア、入浴、排泄、居室の清掃、衣類の着脱等を支援し、快適な日常生活が過ごせるよう支援します。

オ QOL（生活の質）向上のための支援

楽しみのためのレクリエーションや福祉センターで開催される各種教室やサークル活動（書道、絵画、カラオケ）への参加により施設生活の質の向上を図ります。

カ パソコン訓練

利用者には、パソコンに触れ親しむためにインターネットの活用やワード・エクセルを学習して日常生活に活用できる訓練を行います。

例えば、計測した日々の体重や血圧を自らエクセルに記録し、グラフの推移を確認することで自分自身の健康管理を確認することにもパソコンを活用します。また、レクリエーション等で撮影した写真を使い、ワードで年賀状やカレンダーを作製します。

希望される利用者にはエクセルやワード等事務処理能力を高める訓練や、技能資格取得に向けた訓練を行います。職場復帰に向けた訓練も行います。

キ 基礎訓練

脳トレ、計算、漢字、クロスワード、塗り絵等の書字訓練や読書、手芸等、主に机上での訓練を中心に行います。巧緻作業や着替え訓練等それぞれの障害特性にあった訓練を実施します。

月に1回来所する言語聴覚士に利用者への訓練内容について指導を受けて効果的な訓練を提供しております。また、発音や嚙下に問題を抱えた利用者さんには嚙下体操や発声練習等の支援を行います。

(2) 施設入所支援事業(定員30人)

機能訓練事業又は生活介護事業の利用者について日中活動と合わせて夜間等における入浴、排泄、食事の介助等を提供することを目的として、必要な介助、支援等を実施します。

夜間は、男女1名ずつの2名の生活支援員が勤務する体制を確保し、24時間体制で利用者の支援を行います。

ア 給食の提供

給食の提供にあたっては定期的に給食委員会を実施し、利用者の意見や要望を重視しながら栄養士の献立により施設内で新鮮な旬の食材を使った料理を作り、栄養バランスのとれた心のこもった温かい料理を提供します。

また、利用者の状態に合わせた刻み食、トロミ食等の提供も行います。

イ 緊急時の対応

毎月避難訓練(偶数月は日中、奇数月は夜間)を行い、緊急時における緊急連絡網の周知、火災・地震等の災害への対応の周知を図り、利用者の安全確保に努めます。

(3) 地域における公益的な取組

福祉センター地域交流会において、健康チェック(血管年齢測定・ストレス度測定・血圧・酸素量等のバイタル測定)により、自分の健康状態を把握し、地域で安定した生活を送ることができるよう支援します。

(4) 職員の資質の向上

施設内職員研修として毎月研修の時間を確保し、障害者福祉の理解とスキル向上を目指します。セクハラ防止、感染症予防、個人情報保護、人権教育、虐待防止等の研修も行う予定です。

更に、生活介護利用者の障害の重度化に伴い、身体介護等の専門性がより求められるようになりつつあり、外部研修への参加や介護福祉士等の資格取得についても積極的に支援します。

(5) 苦情対策

月に1回利用者との懇談会を開催します。また、施設内にご意見箱を設置しており、利用者及び関係者からの様々な苦情や要望に対して、その解決を目指します

些細なことでも苦情や要望が施設職員に届くように、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員の氏名及び連絡先を明示して、施設内数ヶ所に掲示しています。年度終了後には1年間の苦情や要望をまとめて第三者委員に報告します。

(6) 福祉サービスの質の向上に向けた取組

サービスの質の向上と利用者の適切なサービス選択に資する情報提供のため、「福祉サービス第三者評価」を受審いたします。

評価結果を活用して更なるサービス向上を目指します。

(7) 新型コロナウイルス感染対策

当センターでも本年1月までに9件の新型コロナウイルス感染事例が発生しております。

うち1件では利用者1名の感染があり、隔離室でのケアの実施や通所事業の縮小など事業に影響がでる事態となりました。しかし、いずれのケースもクラスターに発展することなく抑え込むことができました。引き続き感染症の予防に努め、適切な対応に努めてまいります。

7 熊本県社会福祉事業団相談支援事業所事業計画

1 概要

「熊本県社会福祉事業団相談支援事業所は平成25年4月に事業を開始し、現在は相談支援専門員4人の体制で支援を行っています。

多様な相談ニーズに応えるため、職員の資質向上に努めるとともに、基幹相談支援センターや関連事業所と連携していきます。

令和5年度の支援件数は計画作成280件、モニタリング461件、計741件となる見込みです。人事異動により、新規採用職員を配属いたしましたが、諸般の事情により入社が1か月遅れたことで、相談支援専門員3人体制となり単価減になったことに加え、相談支援業務の習熟のため、新規の受け入れを十分行えなかったため、過去3年間の平均の781件と比べ40件ほど減少していますが、次年度以降は件数の増加を見込んでおります。

令和6年度の支援件数は780件を見込んでいます。

2 主な事業の内容

特定相談支援事業及び障害児相談支援事業

(1) 基本相談支援

障害者や障害児・その家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等の他、必要な便宜を供与する支援を行う。

(2) 計画作成及びモニタリングの支援

障害者や障害児が障害福祉サービスを利用する際に、サービス等利用計画を作成し、一定期間毎にモニタリングを行う等の支援を行う。

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団

令和6年度収入支出予算

1 法人会計

2 社会福祉事業区分

(1) 法人本部拠点区分

(2) 身体障害者福祉センター拠点区分

(3) ひばり園拠点区分

(4) くすのき園拠点区分

(5) りんどう荘拠点区分

(6) 身体障害者能力開発センター拠点区分

(7) 相談支援事業所拠点区分

3 公益事業区分

(1) 国際障害者年記念基金事業拠点区分

(2) 障害者スポーツ・文化関係事業拠点区分

(3) 熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局拠点区分

令和6年度 法人会計 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

法人会計

(収入の部)

(単位：千円)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A - B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
259 介護保険事業収入			1,243	1,243	0	
	03 地域密着型介護料収入		1,235	1,235	0	
		01 介護報酬収入	1,112	1,112	0	
		04 介護負担金収入（一般）	123	123	0	
	05 利用者等利用料収入		8	8	0	
		05 食費収入（一般）	8	8	0	
263 就労支援事業収入			8,846	8,684	162	
	01 花菴加工販売事業収入		6,300	6,120	180	
	02 加工委託事業収入		2,546	2,564	△ 18	
264 障害福祉サービス等事業収入			596,480	524,274	72,206	
	01 自立支援給付費収入		407,863	364,794	43,069	
		01 介護給付費収入	245,402	230,396	15,006	
		02 訓練等給付費収入	156,208	128,202	28,006	
		04 計画相談支援給付費収入	6,253	6,196	57	
	02 障害児施設給付費収入		117,728	92,880	24,848	
		01 障害児通所給付費収入	107,942	83,792	24,150	
		03 障害児相談支援給付費収入	9,786	9,088	698	
	03 利用者負担金収入		41,798	37,454	4,344	
	04 補足給付費収入		10,908	12,223	△ 1,315	
		01 特定障害者特別給付費収入	10,908	12,223	△ 1,315	
	05 特定費用収入		15,525	15,535	△ 10	
	06 その他の事業収入		2,658	1,388	1,270	
		01 補助金事業収入（公費）	2,642	1,371	1,271	
		05 その他の事業収入	16	17	△ 1	
267 受託事業収入			98,737	97,583	1,154	
	01 受託事業収入		97,297	96,833	464	
		01 福祉センター指定管理受託収入	50,700	50,700	0	
		02 くまもと障がい者スポーツ大会受託収入	6,976	6,976	0	
		03 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業受託収入	30,031	30,065	△ 34	
		05 熊本県スポーツ文化協会事務局受託収入	3,313	2,815	498	
		06 地域療育等支援事業収入	6,277	6,277	0	
	02 施設利用料収入		1,440	750	690	
268 その他の事業収入			710	610	100	
	01 利用料収入		450	350	100	
	02 その他の事業収入		260	260	0	
		03 その他の事業収入	260	260	0	
270 経常経費寄付金収入			1	1	0	
271 受取利息配当金収入			54	54	0	
272 その他の収入			1,476	2,527	△ 1,051	
	01 受入研修費収入		40	40	0	
	02 利用者等外給食費収入		462	563	△ 101	
	03 雑収入		974	1,924	△ 950	
事業活動収入計			707,547	634,976	72,571	
286 積立資産取崩収入			19,100	38,200	△ 19,100	
	05 施設・設備等整備改修積立資産取崩収入		16,500	38,200	△ 21,700	
	06 経営安定化積立資産取崩収入		2,000	0	2,000	
	09 国際障害者年記念基金積立資産取崩収入		600	0	600	

令和6年度 法人会計 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
法人会計
(単位：千円)

(収入の部)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
293	事業区分間繰入金収入		1,595	1,288	307	
	01	スポ文関係事業事業区分間繰入金収入	957	1,016	△ 59	
	02	スポ文協会事務局事業区分間繰入金収入	638	272	366	
294	拠点区分間繰入金収入		28,225	22,685	5,540	
	01	福祉センター拠点区分間繰入金収入	1,595	1,361	234	
	02	ひばり園拠点区分間繰入金収入	4,307	3,572	735	
	03	開発センター拠点区分間繰入金収入	6,755	5,369	1,386	
	04	りんどう荘拠点区分間繰入金収入	4,278	3,394	884	
	05	くすのき園拠点区分間繰入金収入	8,604	6,453	2,151	
	06	相談支援事業所拠点区分間繰入金収入	686	536	150	
	07	法人本部拠点区分間繰入金収入	2,000	2,000	0	
その他の活動収入計			48,920	62,173	△ 13,253	
資金当期収入計			756,467	697,149	59,318	

令和6年度 法人会計 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
法人会計
(単位：千円)

(支出の部)

科		目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分	(A)	(B)	(A - B)	
201 人件費支出			451,786	426,655	25,131	
	01	役員報酬支出	5,988	6,192	△ 204	
	02	職員給料支出	118,205	108,229	9,976	
	03	職員賞与支出	30,591	27,997	2,594	
	05	非常勤職員給与支出	221,168	213,427	7,741	
	07	退職給付支出	12,091	12,133	△ 42	
	08	法定福利費支出	63,743	58,677	5,066	
202 事業費支出			101,731	110,228	△ 8,497	
	01	給食費支出	32,422	31,648	774	
	05	保健衛生費支出	4,118	4,481	△ 363	
	08	教養娯楽費支出	2,329	2,627	△ 298	
	12	水道光熱費支出	35,331	44,781	△ 9,450	
	13	燃料費支出	5,178	5,723	△ 545	
	15	消耗器具備品費支出	8,163	7,473	690	
	16	保険料支出	1,298	1,298	0	
	17	賃借料支出	4,475	4,544	△ 69	
	18	教育指導費支出	1,415	1,326	89	
	21	車両費支出	6,132	6,057	75	
	22	助成金支出	600	0	600	
	23	雑支出	270	270	0	
203 事務費支出			130,304	124,231	6,073	
	01	福利厚生費支出	3,075	3,012	63	
	02	職員被服費支出	364	364	0	
	03	旅費交通費支出	5,341	5,993	△ 652	
	04	研修研究費支出	3,447	3,563	△ 116	
	05	事務消耗品費支出	6,420	6,742	△ 322	
	06	印刷製本費支出	185	185	0	
	07	水道光熱費支出	200	160	40	
	08	燃料費支出	20	20	0	
	09	修繕費支出	17,123	13,643	3,480	
	10	通信運搬費支出	4,564	3,856	708	
	11	会議費支出	440	440	0	
	13	業務委託費支出	41,362	40,261	1,101	
	14	手数料支出	1,993	1,964	29	
	15	保険料支出	2,830	3,405	△ 575	
	16	賃借料支出	18,208	16,212	1,996	
	17	土地・建物賃借料支出	5,064	5,148	△ 84	
	18	租税公課支出	4,097	4,057	40	
	19	保守料支出	5,786	5,839	△ 53	
	20	渉外費支出	90	90	0	
	21	諸会費支出	825	714	111	
	23	雑支出	8,870	8,563	307	
204 就労支援事業支出			8,846	8,684	162	
	01	就労支援事業販売原価支出	8,364	8,202	162	
		01 就労支援事業製造原価支出	8,364	8,202	162	
	02	就労支援事業販管費支出	482	482	0	

令和6年度 法人会計 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
法人会計
(単位：千円)

(支出の部)

科	目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A - B)	説 明
大 区 分	中 区 分				
	小 区 分				
214	その他の支出		455	1,056	△ 601
	01	利用者等外給食費支出	455	555	△ 100
	03	雑支出	0	501	△ 501
	事業活動支出計		693,122	670,854	22,268
222	固定資産取得支出		21,500	46,535	△ 25,035
	02	建物取得支出	11,700	17,200	△ 5,500
	03	構築物取得支出	0	5,800	△ 5,800
	06	器具及び備品取得支出	9,800	23,535	△ 13,735
	施設整備等支出計		21,500	46,535	△ 25,035
242	事業区分間繰入金支出		1,595	1,088	507
	01	スポ文関係事業事業区分間繰入金支出	957	816	141
	02	スポ文協会事務局事業区分間繰入金支出	638	272	366
243	拠点区分間繰入金支出		28,226	22,885	5,341
	01	福祉センター拠点区分間繰入金支出	1,595	1,561	34
	02	ひばり園拠点区分間繰入金支出	4,307	3,572	735
	03	開発センター拠点区分間繰入金支出	6,755	5,369	1,386
	04	りんどう荘拠点区分間繰入金支出	4,278	3,394	884
	05	くすのき園拠点区分間繰入金支出	8,605	6,453	2,152
	06	相談支援事業所拠点区分間繰入金支出	686	536	150
	07	法人本部拠点区分間繰入金支出	2,000	2,000	0
	その他の活動支出計		29,821	23,973	5,848
248	予備費支出		14,298	14,298	0
	資金当期支出計		758,741	755,660	3,081
	当期資金収支差額合計		△ 2,274	△ 58,511	56,237
前期末支払資金残高（見込額）			295,128		
当期業支払資金残高			292,854		

令和6年度 社会福祉事業区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
社会福祉事業区分
(単位：千円)

(収入の部)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
259	介護保険事業収入		1,243	1,243	0	
	03 地域密着型介護料収入		1,235	1,235	0	
		01 介護報酬収入	1,112	1,112	0	
		04 介護負担金収入(一般)	123	123	0	
	05 利用者等利用料収入		8	8	0	
		05 食費収入(一般)	8	8	0	
263	就労支援事業収入		8,846	8,684	162	
	01 花蒔加工販売事業収入		6,300	6,120	180	
	02 加工委託事業収入		2,546	2,564	△ 18	
264	障害福祉サービス等事業収入		596,480	524,274	72,206	
	01 自立支援給付費収入		407,863	364,794	43,069	
		01 介護給付費収入	245,402	230,396	15,006	
		02 訓練等給付費収入	156,208	128,202	28,006	
		04 計画相談支援給付費収入	6,253	6,196	57	
	02 障害児施設給付費収入		117,728	92,880	24,848	
		01 障害児通所給付費収入	107,942	83,792	24,150	
		03 障害児相談支援給付費収入	9,786	9,088	698	
	03 利用者負担金収入		41,798	37,454	4,344	
	04 補足給付費収入		10,908	12,223	△ 1,315	
		01 特定障害者特別給付費収入	10,908	12,223	△ 1,315	
	05 特定費用収入		15,525	15,535	△ 10	
	06 その他の事業収入		2,658	1,388	1,270	
		01 補助金事業収入(公費)	2,642	1,371	1,271	
		05 その他の事業収入	16	17	△ 1	
267	受託事業収入		58,417	57,727	690	
	01 受託事業収入		56,977	56,977	0	
		01 福祉センター指定管理受託収入	50,700	50,700	0	
		06 地域療育等支援事業収入	6,277	6,277	0	
	02 施設利用料収入		1,440	750	690	
268	その他の事業収入		60	60	0	
	02 その他の事業収入		60	60	0	
		03 その他の事業収入	60	60	0	
270	経常経費寄付金収入		1	1	0	
271	受取利息配当金収入		52	52	0	
272	その他の収入		1,476	2,527	△ 1,051	
	01 受入研修費収入		40	40	0	
	02 利用者等外給食費収入		462	563	△ 101	
	03 雑収入		974	1,924	△ 950	
	事業活動収入計		666,575	594,568	72,007	
286	積立資産取崩収入		18,500	38,200	△ 19,700	
	05 施設・設備等整備改修積立資産取崩収入		16,500	38,200	△ 21,700	
	06 経営安定化積立資産取崩収入		2,000	0	2,000	
293	事業区分間繰入金収入		1,595	1,288	307	
	01 スポ文関係事業事業区分間繰入金収入		957	1,016	△ 59	
	02 スポ文協会事務局事業区分間繰入金収入		638	272	366	
294	拠点区分間繰入金収入		28,225	22,685	5,540	
	01 福祉センター拠点区分間繰入金収入		1,595	1,361	234	
	02 ひばり園拠点区分間繰入金収入		4,307	3,572	735	

令和6年度 社会福祉事業区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
社会福祉事業区分
(単位：千円)

(収入の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A - B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
	03	開発センター拠点区分間繰入金収入	6,755	5,369	1,386	
	04	りんどう荘拠点区分間繰入金収入	4,278	3,394	884	
	05	くすのき園拠点区分間繰入金収入	8,604	6,453	2,151	
	06	相談支援事業所拠点区分間繰入金収入	686	536	150	
	07	法人本部拠点区分間繰入金収入	2,000	2,000	0	
その他の活動収入計			48,320	62,173	△ 13,853	
資金当期収入計			714,895	656,741	58,154	

令和6年度 社会福祉事業区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

社会福祉事業区分

(単位：千円)

(支出の部)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			438,784	414,571	24,213	
	01	役員報酬支出	5,988	6,192	△ 204	
	02	職員給料支出	114,510	104,766	9,744	
	03	職員賞与支出	29,541	26,998	2,543	
	05	非常勤職員給与支出	215,226	207,923	7,303	
	07	退職給付支出	11,555	11,597	△ 42	
	08	法定福利費支出	61,964	57,095	4,869	
202 事業費支出			101,131	110,228	△ 9,097	
	01	給食費支出	32,422	31,648	774	
	05	保健衛生費支出	4,118	4,481	△ 363	
	08	教養娯楽費支出	2,329	2,627	△ 298	
	12	水道光熱費支出	35,331	44,781	△ 9,450	
	13	燃料費支出	5,178	5,723	△ 545	
	15	消耗器具備品費支出	8,163	7,473	690	
	16	保険料支出	1,298	1,298	0	
	17	賃借料支出	4,475	4,544	△ 69	
	18	教育指導費支出	1,415	1,326	89	
	21	車両費支出	6,132	6,057	75	
	23	雑支出	270	270	0	
203 事務費支出			103,415	96,491	6,924	
	01	福利厚生費支出	2,999	2,936	63	
	02	職員被服費支出	340	340	0	
	03	旅費交通費支出	1,160	1,020	140	
	04	研修研究費支出	3,447	3,563	△ 116	
	05	事務消耗品費支出	6,176	6,479	△ 303	
	06	印刷製本費支出	185	185	0	
	09	修繕費支出	16,328	13,508	2,820	
	10	通信運搬費支出	4,467	3,755	712	
	11	会議費支出	185	185	0	
	13	業務委託費支出	39,756	38,751	1,005	
	14	手数料支出	1,962	1,937	25	
	15	保険料支出	2,589	3,044	△ 455	
	16	賃借料支出	7,658	5,292	2,366	
	17	土地・建物賃借料支出	5,064	5,148	△ 84	
	18	租税公課支出	2,252	2,172	80	
	19	保守料支出	5,736	5,789	△ 53	
	20	渉外費支出	90	90	0	
	21	諸会費支出	825	714	111	
	23	雑支出	2,196	1,583	613	
204 就労支援事業支出			8,846	8,684	162	
	01	就労支援事業販売原価支出	8,364	8,202	162	
		01 就労支援事業製造原価支出	8,364	8,202	162	
	02	就労支援事業販管費支出	482	482	0	
214 その他の支出			455	1,056	△ 601	
	01	利用者等外給食費支出	455	555	△ 100	
	03	雑支出	0	501	△ 501	
事業活動支出計			652,631	631,030	21,601	

令和6年度 社会福祉事業区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
社会福祉事業区分
(単位：千円)

(支出の部)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説	明
大区分	中区分	小区分					
222		固定資産取得支出	21,500	46,535	△ 25,035		
	02	建物取得支出	11,700	17,200	△ 5,500		
	03	構築物取得支出	0	5,800	△ 5,800		
	06	器具及び備品取得支出	9,800	23,535	△ 13,735		
		施設整備等支出計	21,500	46,535	△ 25,035		
243		拠点区分間繰入金支出	28,226	22,885	5,341		
	01	福祉センター拠点区分間繰入金支出	1,595	1,561	34		
	02	ひばり園拠点区分間繰入金支出	4,307	3,572	735		
	03	開発センター拠点区分間繰入金支出	6,755	5,369	1,386		
	04	りんどう荘拠点区分間繰入金支出	4,278	3,394	884		
	05	くすのき園拠点区分間繰入金支出	8,605	6,453	2,152		
	06	相談支援事業所拠点区分間繰入金支出	686	536	150		
	07	法人本部拠点区分間繰入金支出	2,000	2,000	0		
		その他の活動支出計	28,226	22,885	5,341		
248		予備費支出	14,150	14,150	0		
		資金当期支出計	716,507	714,600	1,907		
		当期資金収支差額合計	△ 1,612	△ 57,859	56,247		
		前期末支払資金残高（見込額）	283,197				
		当期業支払資金残高	281,585				

令和6年度 法人本部拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
法人本部拠点区分
(単位：千円)

(収入の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
271		受取利息配当金収入	4	4	0	預金受取利息
272		その他の収入	58	648	△ 590	
	03	雑収入	58	648	△ 590	障害者雇用調整金
		事業活動収入計	62	652	△ 590	
293		事業区分間繰入金収入	1,595	1,088	507	法人本部経費等
	01	スポ文関係事業事業区分間繰入金収入	957	816	141	
	02	スポ文協会事務局事業区分間繰入金収入	638	272	366	
294		拠点区分間繰入金収入	26,225	20,685	5,540	法人本部経費等
	01	福祉センター拠点区分間繰入金収入	1,595	1,361	234	
	02	ひばり園拠点区分間繰入金収入	4,307	3,572	735	
	03	開発センター拠点区分間繰入金収入	6,755	5,369	1,386	
	04	りんどう荘拠点区分間繰入金収入	4,278	3,394	884	
	05	くすのき園拠点区分間繰入金収入	8,604	6,453	2,151	
	06	相談支援事業所拠点区分間繰入金収入	686	536	150	
		その他の活動収入計	27,820	21,773	6,047	
		資金当期収入計	27,882	22,425	5,457	

令和6年度 法人本部拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
法人本部拠点区分
(単位：千円)

(支出の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			21,894	23,333	△ 1,439	理事長1人、職員3人分
	01	役員報酬支出	5,988	6,192	△ 204	
	02	職員給料支出	3,096	3,012	84	
	03	職員賞与支出	919	868	51	
	05	非常勤職員給与支出	8,544	9,576	△ 1,032	
	07	退職給付支出	403	537	△ 134	
	08	法定福利費支出	2,944	3,148	△ 204	
203 事務費支出			4,428	4,385	43	
	01	福利厚生費支出	137	110	27	
	02	職員被服費支出	40	40	0	
	03	旅費交通費支出	378	238	140	
	04	研修研究費支出	1,429	1,435	△ 6	
	05	事務消耗品費支出	620	620	0	
	09	修繕費支出	50	50	0	
	10	通信運搬費支出	250	250	0	
	11	会議費支出	30	30	0	
	13	業務委託費支出	831	948	△ 117	
	14	手数料支出	144	135	9	
	15	保険料支出	150	150	0	
	16	賃借料支出	24	12	12	
	18	租税公課支出	10	20	△ 10	
	19	保守料支出	22	34	△ 12	
	20	渉外費支出	50	50	0	
	21	諸会費支出	218	218	0	
	23	雑支出	45	45	0	
事業活動支出計			26,322	27,718	△ 1,396	
243 拠点区分間繰入金支出			2,000	2,000	0	
	07	法人本部拠点区分間繰入金支出	2,000	2,000	0	相談支援事業所運営資金
その他の活動支出計			2,000	2,000	0	
248 予備費支出			500	500	0	
資金当期支出計			28,822	30,218	△ 1,396	
当期資金収支差額合計			△ 940	△ 7,793	6,853	
前期末支払資金残高(見込)			13,586			
当期末支払資金残高			12,646			

令和6年度 身体障害者福祉センター拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
身体障害者福祉センター拠点区分

(収入の部)

(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
267	受託事業収入		52,140	51,450	690	
	01 受託事業収入		50,700	50,700	0	
		01 福祉センター指定管理受託収入	50,700	50,700	0	福祉センター指定管理受託料
	02 施設利用料収入		1,440	750	690	体育館等利用料
268	その他の事業収入		60	60	0	
	02 その他の事業収入		60	60	0	
		03 その他の事業収入	60	60	0	兼務職員分
271	受取利息配当金収入		3	3	0	
272	その他の収入		470	470	0	
	03 雑収入		470	470	0	自動販売機手数料
	事業活動収入計		52,673	51,983	690	
293	事業区分間繰入金収入		0	200	△ 200	
	01 スポーツ関係事業事業区分間繰入金収入		0	200	△ 200	
	その他の活動収入計		0	200	△ 200	
	資金当期収入計		52,673	52,183	490	

令和6年度 身体障害者福祉センター拠点区分 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
身体障害者福祉センター拠点区分
(単位：千円)

科 目		本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分 小 区 分				
201	人件費支出	22,156	21,213	943	
	02 職員給料支出	5,211	5,296	△ 85	
	03 職員賞与支出	1,485	1,495	△ 10	
	05 非常勤職員給与支出	11,727	10,904	823	給与改定による増
	07 退職給付支出	668	668	0	
	08 法定福利費支出	3,065	2,850	215	
202	事業費支出	9,193	9,346	△ 153	
	12 水道光熱費支出	5,360	5,510	△ 150	
	13 燃料費支出	100	100	0	
	15 消耗器具備品費支出	875	875	0	
	16 保険料支出	725	725	0	
	17 賃借料支出	794	744	50	
	18 教育指導費支出	469	522	△ 53	
	21 車両費支出	850	850	0	
	23 雑支出	20	20	0	
203	事務費支出	21,489	21,273	216	
	01 福利厚生費支出	111	101	10	
	02 職員被服費支出	30	30	0	
	03 旅費交通費支出	63	63	0	
	04 研修研究費支出	124	204	△ 80	
	05 事務消耗品費支出	480	470	10	
	06 印刷製本費支出	30	30	0	
	09 修繕費支出	2,290	2,290	0	
	10 通信運搬費支出	435	435	0	
	11 会議費支出	13	13	0	
	13 業務委託費支出	13,916	13,933	△ 17	
	14 手数料支出	140	140	0	
	16 賃借料支出	271	271	0	
	18 租税公課支出	1,571	1,571	0	
	19 保守料支出	1,395	1,615	△ 220	契約見込み額減のため
	20 渉外費支出	20	20	0	
	21 諸会費支出	17	17	0	
	23 雑支出	583	70	513	リフトバス時間外他
	事業活動支出計	52,838	51,832	1,006	
222	固定資産取得支出	250	495	△ 245	
	06 器具及び備品取得支出	250	495	△ 245	スポーツ用具購入予定無しによる減
	施設整備等支出計	250	495	△ 245	
243	拠点区分間繰入金支出	1,595	1,561	34	
	01 福祉センター拠点区分間繰入金支出	1,595	1,561	34	本部人件費・事務経費負担分
	その他の活動支出計	1,595	1,561	34	
248	予備費支出	150	150	0	
	資金当期支出計	54,833	54,038	795	
	当期資金収支差額合計	△ 2,160	△ 1,855	△ 305	
	前期末支払資金残高（見込額）	34,885			
	当期末支払資金残高	32,725			

令和6年度 ひばり園拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

(収入の部)

ひばり園拠点区分

(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大区分	中区分	小区分				
264		障害福祉サービス等事業収入	118,608	92,057	26,551	
	02	障害児施設給付費収入	107,942	83,792	24,150	報酬改定等による増
		01 障害児通所給付費収入	107,942	83,792	24,150	
	03	利用者負担金収入	10,422	8,211	2,211	
	06	その他の事業収入	244	54	190	
		01 補助金事業収入(公費)	244	54	190	処遇改善支援事業補助金等
267		受託事業収入	6,277	6,277	0	
	01	受託事業収入	6,277	6,277	0	
		06 地域療育等支援事業収入	6,277	6,277	0	
270		経常経費寄付金収入	1	1	0	
271		受取利息配当金収入	20	20	0	
272		その他の収入	100	100	0	
	03	雑収入	100	100	0	
		事業活動収入計	125,006	98,455	26,551	
		資金当期収入計	125,006	98,455	26,551	

令和6年度 ひばり園拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

(支出の部)

ひばり園拠点区分

(単位：千円)

科 目		本年度予算額 A	前年度予算額 B	比較増減 A-B	説 明
大 区 分	中 区 分 小 区 分				
201	人件費支出	82,444	76,780	5,664	
	02 職員給料支出	37,583	32,227	5,356	給与改定による増
	03 職員賞与支出	9,424	8,061	1,363	
	05 非常勤職員給与支出	22,151	24,740	△ 2,589	嘱託職員1名退職、契約職員から嘱託職員へ1名転換等による減
	07 退職給付支出	1,433	1,567	△ 134	
	08 法定福利費支出	11,853	10,185	1,668	
202	事業費支出	4,503	4,309	194	
	05 保健衛生費支出	367	330	37	
	12 水道光熱費支出	3,000	3,000	0	
	15 消耗器具備品費支出	325	310	15	
	16 保険料支出	130	130	0	
	17 賃借料支出	42	42	0	
	18 教育指導費支出	426	284	142	
	21 車両費支出	163	163	0	
	23 雑支出	50	50	0	
203	事務費支出	8,198	7,287	911	
	01 福利厚生費支出	270	297	△ 27	
	03 旅費交通費支出	133	133	0	
	04 研修研究費支出	450	450	0	
	05 事務消耗品費支出	591	774	△ 183	
	09 修繕費支出	2,720	1,400	1,320	療育室床張替工事等
	10 通信運搬費支出	424	424	0	
	11 会議費支出	10	10	0	
	13 業務委託費支出	1,408	1,693	△ 285	
	14 手数料支出	217	265	△ 48	
	15 保険料支出	224	224	0	
	16 賃借料支出	1,144	1,011	133	
	18 租税公課支出	50	50	0	
	19 保守料支出	442	441	1	
	20 渉外費支出	20	20	0	
	21 諸会費支出	75	75	0	
	23 雑支出	20	20	0	
	事業活動支出計	95,145	88,376	6,769	
222	固定資産取得支出	500	1,730	△ 1,230	
	02 建物取得支出	0	500	△ 500	
	06 器具及び備品取得支出	500	1,230	△ 730	
	施設整備等支出計	500	1,730	△ 1,230	
243	拠点区分間繰入金支出	4,307	3,572	735	
	02 ひばり園拠点区分間繰入金支出	4,307	3,572	735	本部人件費・事務経費負担分
	その他の活動支出計	4,307	3,572	735	

令和6年度 ひばり園拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

(支出の部)

ひばり園拠点区分

(単位：千円)

科 目			本年度予算額 A	前年度予算額 B	比較増減 A-B	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
248	予備費支出		1,000	1,000	0	
資金当期支出計			100,952	94,678	6,274	
当期資金収支差額合計			24,054	3,777	20,277	
前期末支払資金残高（見込）			84,532			
当期末支払資金残高			108,586			

令和6年度 くすのき園拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

(収入の部)

くすのき園拠点区分

(単位: 千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
263	就労支援事業収入		8,846	8,684	162	生産活動収入
	01	花蒔加工販売事業収入	6,300	6,120	180	
	02	加工委託事業収入	2,546	2,564	△ 18	
264	障害福祉サービス等事業収入		220,071	199,330	20,741	報酬改定等による増
	01	自立支援給付費収入	199,152	179,305	19,847	
		01 介護給付費収入	141,943	133,003	8,940	
		02 訓練等給付費収入	57,209	46,302	10,907	
	03	利用者負担金収入	111	111	0	
	04	補足給付費収入	3,360	3,360	0	
		01 特定障害者特別給付費収入	3,360	3,360	0	
	05	特定費用収入	15,525	15,535	△ 10	
	06	その他の事業収入	1,923	1,019	904	
		01 補助金事業収入(公費)	1,907	1,002	905	処遇改善支援事業補助金等
		05 その他の事業収入	16	17	△ 1	
271	受取利息配当金収入		9	9	0	
272	その他の収入		204	205	△ 1	
	01	受入研修費収入	40	40	0	
	02	利用者等外給食費収入	22	23	△ 1	
	03	雑収入	142	142	0	応援コーポレート事業他
	事業活動収入計		229,130	208,228	20,902	
286	積立資産取崩収入		6,500	28,200	△ 21,700	
	05	施設・設備等整備改修積立資産取崩収入	6,500	28,200	△ 21,700	重油タンク交換費用、機械浴搬送車、リクライニング式車椅子、まな板殺菌庫等
	その他の活動収入計		6,500	28,200	△ 21,700	
	資金当期収入計		235,630	236,428	△ 798	

令和6年度 くすのき園拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

(支出の部)

くすのき園拠点区分

(単位: 千円)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			130,119	128,108	2,011	職員34人分
	02	職員給料支出	34,050	32,302	1,748	
	03	職員賞与支出	8,492	7,793	699	
	05	非常勤職員給与支出	64,232	65,306	△ 1,074	実績見込み減
	07	退職給付支出	4,095	4,228	△ 133	
	08	法定福利費支出	19,250	18,479	771	
202 事業費支出			42,812	46,499	△ 3,687	
	01	給食費支出	13,324	12,771	553	
	05	保健衛生費支出	2,545	2,945	△ 400	感染症対策消耗品費等
	08	教養娯楽費支出	1,851	2,180	△ 329	フェスタ、eスポーツ等
	12	水道光熱費支出	13,801	17,761	△ 3,960	電気代
	13	燃料費支出	2,905	3,481	△ 576	重油代
	15	消耗器具備品費支出	3,233	2,208	1,025	感染症対策費用他
	16	保険料支出	323	323	0	利用者傷害保険
	17	賃借料支出	1,650	1,650	0	寝具リース他
	18	教育指導費支出	120	120	0	
	21	車両費支出	2,940	2,940	0	ガソリン代、公用車修繕他
	23	雑支出	120	120	0	
203 事務費支出			38,414	32,468	5,946	
	01	福利厚生費支出	928	928	0	
	02	職員被服費支出	110	110	0	
	03	旅費交通費支出	200	200	0	
	04	研修研究費支出	692	692	0	
	05	事務消耗品費支出	2,185	1,815	370	
	06	印刷製本費支出	55	55	0	
	09	修繕費支出	7,000	5,500	1,500	受水槽内部修繕他
	10	通信運搬費支出	1,491	783	708	
	11	会議費支出	102	102	0	
	13	業務委託費支出	16,504	14,981	1,523	給食調理管理委託費、機器等管理委託料等
	14	手数料支出	316	316	0	
	15	保険料支出	890	1,285	△ 395	火災保険料支払い済みのため
	16	賃借料支出	4,809	2,705	2,104	
	18	租税公課支出	330	250	80	
	19	保守料支出	1,816	1,826	△ 10	
	21	諸会費支出	350	284	66	
	23	雑支出	636	636	0	求人掲載費用
204 就労支援事業支出			8,846	8,684	162	
	01	就労支援事業販売原価支出	8,364	8,202	162	
		01 就労支援事業製造原価支出	8,364	8,202	162	
	02	就労支援事業販管費支出	482	482	0	

令和6年度 くすのき園拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

(支出の部)

くすのき園拠点区分

(単位：千円)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A - B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
214	その他の支出		15	516	△ 501	
	01	利用者等外給食費支出	15	15	0	
	03	雑支出	0	501	△ 501	
	事業活動支出計		220,206	216,275	3,931	
222	固定資産取得支出		6,500	25,800	△ 19,300	
	02	建物取得支出	4,600	4,200	400	重油タンク交換、宿泊棟廊下飛散防止ガラス交換、公衆電話室拡張工事
	03	構築物取得支出	0	5,800	△ 5,800	
	06	器具及び備品取得支出	1,900	15,800	△ 13,900	機械浴搬送車、リクライニング式車椅子、厨房まな板殺菌庫
	施設整備等支出計		6,500	25,800	△ 19,300	
243	拠点区分間繰入金支出		8,605	6,453	2,152	
	05	くすのき園拠点区分間繰入金支出	8,605	6,453	2,152	本部人件費・事務経費施設負担分
	その他の活動支出計		8,605	6,453	2,152	
248	予備費支出		8,000	8,000	0	
	資金当期支出計		243,311	256,528	△ 13,217	
	当期資金収支差額合計		△ 7,681	△ 20,100	12,419	
前期末支払資金残高(見込)			82,889			
当期末支払資金残高			75,208			

令和6年度 りんどう荘拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
りんどう荘拠点区分
(単位:千円)

(収入の部)

科		目	本年度予算額 A	前年度予算額 B	比較増減 A-B	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
264 障害福祉サービス等事業収入			88,184	77,054	11,130	
	01	自立支援給付費収入	67,201	55,692	11,509	看護職配置加算及び 特定加算増
		02 訓練等給付費収入	67,201	55,692	11,509	
	03	利用者負担金収入	17,165	17,882	△ 717	食事注文実績減、りん どう荘Ⅳ家賃値下げ
	04	補足給付費収入	3,720	3,480	240	
		01 特定障害者特別給付費収入	3,720	3,480	240	対象者2名増
	06	その他の事業収入	98	0	98	
		01 補助金事業収入(公費)	98	0	98	処遇改善支援事業補 助金
271 受取利息配当金収入			4	4	0	
272 その他の収入			354	454	△ 100	
	02	利用者等外給食費収入	350	450	△ 100	食事注文実績減
	03	雑収入	4	4	0	
事業活動収入計			88,542	77,512	11,030	
資金当期収入計			88,542	77,512	11,030	

令和6年度 りんどう荘拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
りんどう荘拠点区分
(単位:千円)

(支出の部)

科 目			本年度予算額 A	前年度予算額 B	比較増減 A-B	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			63,089	54,635	8,454	
	02	職員給料支出	3,545	3,177	368	昇給、加算収入増による手当増
	03	職員賞与支出	890	838	52	昇給
	05	非常勤職員給与支出	49,724	41,796	7,928	看護職員2名配置、昇給、手当増
	07	退職給付支出	1,440	1,170	270	看護職員2名分増
	08	法定福利費支出	7,490	7,654	△ 164	実績見直しによる減
202 事業費支出			14,187	14,484	△ 297	
	01	給食費支出	4,506	4,837	△ 331	食事注文実績減
	05	保健衛生費支出	266	266	0	
	08	教養娯楽費支出	226	219	7	新聞代増
	12	水道光熱費支出	4,830	4,830	0	
	13	燃料費支出	1,233	1,142	91	重油使用量増及び値上げによる増
	15	消耗器具備品費支出	1,980	1,880	100	看板材料費計上
	17	賃借料支出	411	650	△ 239	公用車1台再リースによる減
	21	車両費支出	735	660	75	車検分増
203 事務費支出			11,828	11,634	194	
	01	福利厚生費支出	681	633	48	看護職員2名分増
	03	旅費交通費支出	126	126	0	
	04	研修研究費支出	142	142	0	
	05	事務消耗品費支出	1,050	1,050	0	
	06	印刷製本費支出	100	100	0	
	09	修繕費支出	878	878	0	
	10	通信運搬費支出	671	671	0	
	13	業務委託費支出	889	889	0	
	14	手数料支出	612	604	8	勤怠管理システム利用料2名分増
	15	保険料支出	376	436	△ 60	火災保険料減
	16	賃借料支出	339	257	82	タイムレコーダーレンタル料及びコピー機リース料増
	17	土地・建物賃借料支出	5,064	5,148	△ 84	りんどう荘IV家賃値下げ
	18	租税公課支出	61	51	10	車検分増
	19	保守料支出	502	412	90	報酬改定対応費用、新規自動ドア保守点検料
	23	雑支出	337	237	100	求人広告代増
214 その他の支出			350	450	△ 100	
	01	利用者等外給食費支出	350	450	△ 100	食事注文実績減
事業活動支出計			89,454	81,203	8,251	

令和6年度 りんどう荘拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
りんどう荘拠点区分
(単位:千円)

(支出の部)

科 目			本年度予算額 A	前年度予算額 B	比較増減 A-B	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
222 固定資産取得支出			1,100	6,000	△ 4,900	
	02	建物取得支出	1,100	5,500	△ 4,400	事務室拡張工事、自動 ドア開閉装置更新完了 排煙窓開閉装置更新
	06	器具及び備品取得支出	0	500	△ 500	物置設置完了
施設整備等支出計			1,100	6,000	△ 4,900	
243 拠点区分間繰入金支出			4,278	3,394	884	本部人件費・事務費負 担分
	04	りんどう荘拠点区分間繰入金支出	4,278	3,394	884	
その他の活動支出計			4,278	3,394	884	
248 予備費支出			2,000	2,000	0	
資金当期支出計			96,832	92,597	4,235	
当期資金収支差額合計			△ 8,290	△ 15,085	6,795	
前期末末支払資金残高(見込額)			7,774			
当期末末支払資金残高			△ 516			

令和6年度 身体障害者能力開発センター拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

身体障害者能力開発センター拠点区分

(収入の部)

(単位:千円)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
259 介護保険事業収入			1,243	1,243	0	
	03 地域密着型介護料収入		1,235	1,235	0	
		01 介護報酬収入	1,112	1,112	0	共生型
		04 介護負担金収入(一般)	123	123	0	
	05 利用者等利用料収入		8	8	0	
		05 食費収入(一般)	8	8	0	
264 障害福祉サービス等事業収入			153,578	140,549	13,029	
	01 自立支援給付費収入		135,257	123,601	11,656	
		01 介護給付費収入	103,459	97,393	6,066	生活介護、施設入所
		02 訓練等給付費収入	31,798	26,208	5,590	機能訓練
	03 利用者負担金収入		14,100	11,250	2,850	
	04 補足給付費収入		3,828	5,383	△ 1,555	
		01 特定障害者特別給付費収入	3,828	5,383	△ 1,555	
	06 その他の事業収入		393	315	78	
		01 補助金事業収入(公費)	393	315	78	利用者負担軽減自治体助成金、処遇改善補助金
271 受取利息配当金収入			10	10	0	
272 その他の収入			290	650	△ 360	
	02 利用者等外給食費収入		90	90	0	施設利用体験時食事代
	03 雑収入		200	560	△ 360	自動販売機手数料
事業活動収入計			155,121	142,452	12,669	
286 積立資産取崩収入			10,000	10,000	0	
	05 施設・設備等整備改修積立資産取崩収入		10,000	10,000	0	固定資産取得資金に充当
その他の活動収入計			10,000	10,000	0	
資金当期収入計			165,121	152,452	12,669	

令和6年度 身体障害者能力開発センター拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

身体障害者能力開発センター拠点区分

(支出の部)

(単位:千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			103,236	95,862	7,374	
	02	職員給料支出	20,682	19,123	1,559	人員5名
	03	職員賞与支出	5,427	5,289	138	人員5名
	05	非常勤職員給与支出	58,848	55,601	3,247	嘱託21名、契約6名
	07	退職給付支出	3,111	3,022	89	継続6名、新規21名
	08	法定福利費支出	15,168	12,827	2,341	
202 事業費支出			30,112	35,266	△ 5,154	
	01	給食費支出	14,592	14,040	552	給食食材費他
	05	保健衛生費支出	940	940	0	利用者健診料他
	08	教養娯楽費支出	252	228	24	新聞購読料他
	12	水道光熱費支出	8,160	13,500	△ 5,340	水道、電気、ガス代
	13	燃料費支出	940	1,000	△ 60	灯油代
	15	消耗器具備品費支出	1,750	2,200	△ 450	訓練室、宿泊棟用備品
	16	保険料支出	120	120	0	センター利用者傷害保険料
	17	賃借料支出	1,578	1,458	120	入所利用者シーツレンタル料他
	18	教育指導費支出	400	400	0	講師謝礼
	21	車両費支出	1,300	1,300	0	ガソリン代他
	23	雑支出	80	80	0	廃棄物処理費他
203 事務費支出			17,143	17,580	△ 437	
	01	福利厚生費支出	805	800	5	インフルエンザ予防接種代他
	02	職員被服費支出	150	150	0	ユニホーム代
	03	旅費交通費支出	200	200	0	全国施設総会旅費他
	04	研修研究費支出	510	540	△ 30	研修代
	05	事務消耗品費支出	1,000	1,500	△ 500	事務用品代
	09	修繕費支出	3,340	3,340	0	宿泊棟、訓練室修繕他
	10	通信運搬費支出	436	456	△ 20	NTT通話料他
	11	会議費支出	20	20	0	来客用お茶代
	13	業務委託費支出	6,117	6,227	△ 110	清掃業務委託料他
	14	手数料支出	487	447	40	振込手数料他
	15	保険料支出	856	856	0	自動車任意保険料他
	16	賃借料支出	899	864	35	福祉の森リース料他
	18	租税公課支出	220	220	0	法人税・消費税等
	19	保守料支出	1,533	1,435	98	空調機保守料他
	21	諸会費支出	145	100	45	身体障害児者施設協議会会費他
	23	雑支出	425	425	0	求人広告掲載料他

令和6年度 身体障害者能力開発センター拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
身体障害者能力開発センター拠点区分

(支出の部)

(単位:千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
214		その他の支出	90	90	0	
	01	利用者等外給食費支出	90	90	0	施設利用体験時食材代他
		事業活動支出計	150,581	148,798	1,783	
222		固定資産取得支出	13,150	12,510	640	
	02	建物取得支出	6,000	7,000	△ 1,000	トイレ改修・空調機(リハ室)
	06	器具及び備品取得支出	7,150	5,510	1,640	インカムナースコール・電気治療機器
		施設整備等支出計	13,150	12,510	640	
243		拠点区分間繰入金支出	6,755	5,369	1,386	
	03	開発センター拠点区分間繰入金支出	6,755	5,369	1,386	本部人件費・事務経費負担分
		その他の活動支出計	6,755	5,369	1,386	
248		予備費支出(10)	2,000	2,000	0	
		資金当期支出計	172,486	168,677	3,809	
		当期資金収支差額合計	△ 7,365	△ 16,225	8,860	

前期末支払資金残高(見込額)	53,772		
当期末支払資金残高	46,407		

令和6年度 相談支援事業所拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

相談支援事業所拠点区分

(収入の部)

(単位:千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
264		障害福祉サービス等事業収入	16,039	15,284	755	
	01	自立支援給付費収入	6,253	6,196	57	
		04 計画相談支援給付費収入	6,253	6,196	57	収入見込み増
	02	障害児施設給付費収入	9,786	9,088	698	
		03 障害児相談支援給付費収入	9,786	9,088	698	収入見込み増
271		受取利息配当金収入	2	2	0	預金受取利息
		事業活動収入計	16,041	15,286	755	
286		積立資産取崩収入	2,000	0	2,000	
	06	経営安定化積立資産取崩収入	2,000	0	2,000	事業活動費用に充当
294		拠点区分間繰入金収入	2,000	2,000	0	
	07	法人本部拠点区分間繰入金収入	2,000	2,000	0	運営支援金
		その他の活動収入計	4,000	2,000	2,000	
		資金当期収入計	20,041	17,286	2,755	

令和6年度 相談支援事業所拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
相談支援事業所拠点区分

(支出の部)

(単位:千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			15,846	14,640	1,206	
	02	職員給料支出	10,343	9,629	714	正職員3名
	03	職員賞与支出	2,904	2,654	250	正職員3名
	07	退職給付支出	405	405	0	正職員3名
	08	法定福利費支出	2,194	1,952	242	正職員3名
202 事業費支出			324	324	0	
	12	水道光熱費支出	180	180	0	電気・水道料金
	21	車両費支出	144	144	0	公用車ガソリン代
203 事務費支出			1,915	1,864	51	
	01	福利厚生費支出	67	67	0	ふれあう共済、健康診断料他
	02	職員被服費支出	10	10	0	職員被服費
	03	旅費交通費支出	60	60	0	交通費および駐車料金
	04	研修研究費支出	100	100	0	専門員協議会研修他
	05	事務消耗品費支出	250	250	0	コピーカウント料、事務消耗品
	09	修繕費支出	50	50	0	器具等修繕
	10	通信運搬費支出	760	736	24	NTT通話料、携帯電話料、切手等
	11	会議費支出	10	10	0	お茶代等
	13	業務委託費支出	91	80	11	請求システム他
	14	手数料支出	46	30	16	振込手数料他
	15	保険料支出	93	93	0	公用車任意保険料等
	16	賃借料支出	172	172	0	公用車リース、複写機リース
	18	租税公課支出	10	10	0	消費税等
	19	保守料支出	26	26	0	会計システム保守料他
	21	諸会費支出	20	20	0	熊本市相談支援連絡協議会会費他
	23	雑支出	150	150	0	求人広告他
事業活動支出計			18,085	16,828	1,257	
243 拠点区分間繰入金支出			686	536	150	
	06	相談支援事業所拠点区分間繰入金支出	686	536	150	本部門人件費・事務経費負担分
その他の活動支出計			686	536	150	
248 予備費支出			500	500	0	
資金当期支出計			19,271	17,864	1,407	
当期資金収支差額合計			770	△ 578	1,348	

前期末支払資金残高(見込額)	5,757		
当期末支払資金残高	6,527		

令和6年度 公益事業区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
公益事業区分
(単位：千円)

(収入の部)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
267 受託事業収入			40,320	39,856	464	
	01 受託事業収入		40,320	39,856	464	
		02 くまもと障がい者スポーツ大会受託収入	6,976	6,976	0	
		03 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業受託収入	30,031	30,065	△ 34	
		05 熊本県スポーツ文化協会事務局受託収入	3,313	2,815	498	
268 その他の事業収入			650	550	100	
	01 利用料収入		450	350	100	
	02 その他の事業収入		200	200	0	
		03 その他の事業収入	200	200	0	
271 受取利息配当金収入			2	2	0	
事業活動収入計			40,972	40,408	564	
286 積立資産取崩収入			600	0	600	
	09 国際障害者年記念基金積立資産取崩収入		600	0	600	
その他の活動収入計			600	0	600	
資金当期収入計			41,572	40,408	1,164	

令和6年度 公益事業区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
公益事業区分
(単位：千円)

(支出の部)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			13,002	12,084	918	
	02	職員給料支出	3,695	3,463	232	
	03	職員賞与支出	1,050	999	51	
	05	非常勤職員給与支出	5,942	5,504	438	
	07	退職給付支出	536	536	0	
	08	法定福利費支出	1,779	1,582	197	
202 事業費支出			600	0	600	
	22	助成金支出	600	0	600	
203 事務費支出			26,889	27,740	△ 851	
	01	福利厚生費支出	76	76	0	
	02	職員被服費支出	24	24	0	
	03	旅費交通費支出	4,181	4,973	△ 792	
	05	事務消耗品費支出	244	263	△ 19	
	07	水道光熱費支出	200	160	40	
	08	燃料費支出	20	20	0	
	09	修繕費支出	795	135	660	
	10	通信運搬費支出	97	101	△ 4	
	11	会議費支出	255	255	0	
	13	業務委託費支出	1,606	1,510	96	
	14	手数料支出	31	27	4	
	15	保険料支出	241	361	△ 120	
	16	賃借料支出	10,550	10,920	△ 370	
	18	租税公課支出	1,845	1,885	△ 40	
	19	保守料支出	50	50	0	
	23	雑支出	6,674	6,980	△ 306	
事業活動支出計			40,491	39,824	667	
242 事業区分間繰入金支出			1,595	1,088	507	
	01	スポーツ関係事業事業区分間繰入金支出	957	816	141	
	02	スポーツ協会事務局事業区分間繰入金支出	638	272	366	
その他の活動支出計			1,595	1,088	507	
248 予備費支出			148	148	0	
資金当期支出計			42,234	41,060	1,174	
当期資金収支差額合計			△ 662	△ 652	△ 10	
前期末支払資金残高（見込額）			11,930			
当期末支払資金残高			11,268			

令和6年度 国際障害者年記念基金事業拠点区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
国際障害者年記念基金事業拠点区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
271		受取利息配当金収入	2	2	0	
		事業活動収入計	2	2	0	
286		積立資産取崩収入	600	0	600	
	09	国際障害者年記念基金積立資産取崩収入	600	0	600	助成金2団体分
		その他の活動収入計	600	0	600	
		資金当期収入計	602	2	600	

令和6年度 国際障害者年記念基金事業拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

国際障害者年記念基金事業拠点区分

(単位：千円)

(支出の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
202	事業費支出		600	0	600	
	22	助成金支出	600	0	600	助成金2団体分
203	事務費支出		4	0	4	
	14	手数料支出	4	0	4	
		事業活動支出計	604	0	604	
		資金当期支出計	604	0	604	
		当期資金収支差額合計	△ 2	2	△ 4	
前期末支払資金残高（見込額）			192			
当期末支払資金残高			190			

令和6年度 障害者スポーツ・文化関係事業拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
障害者スポーツ・文化関係事業拠点区分
(単位：千円)

(収入の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
267		受託事業収入	37,007	37,041	△ 34	
	01	受託事業収入	37,007	37,041	△ 34	
		02 くまもと障がい者スポーツ大会受託収入	6,976	6,976	0	
		03 全国障害者ｽﾍﾞｯｸﾞ大会選手団派遣事業受託収入	30,031	30,065	△ 34	
268		その他の事業収入	650	550	100	
	01	利用料収入	450	350	100	コロナが5類になり利用増が見込めるため
	02	その他の事業収入	200	200	0	
		03 その他の事業収入	200	200	0	
事業活動収入計			37,657	37,591	66	
資金当期収入計			37,657	37,591	66	

令和6年度 障害者スポーツ・文化関係事業拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
障害者スポーツ・文化関係事業拠点区分
(単位：千円)

(支出の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201	人件費支出		10,631	9,820	811	
	02	職員給料支出	3,695	3,463	232	給与改定による増
	03	職員賞与支出	1,050	999	51	
	05	非常勤職員給与支出	3,995	3,650	345	時間外増のため
	07	退職給付支出	402	402	0	
	08	法定福利費支出	1,489	1,306	183	
203	事務費支出		26,629	27,509	△ 880	
	01	福利厚生費支出	57	57	0	
	02	職員被服費支出	18	18	0	
	03	旅費交通費支出	4,181	4,973	△ 792	鹿児島県から佐賀県へ
	05	事務消耗品費支出	244	263	△ 19	
	07	水道光熱費支出	200	160	40	
	08	燃料費支出	20	20	0	
	09	修繕費支出	795	135	660	空調機整備
	10	通信運搬費支出	97	97	0	
	11	会議費支出	255	255	0	
	13	業務委託費支出	1,606	1,510	96	
	14	手数料支出	18	18	0	
	15	保険料支出	241	361	△ 120	
	16	賃借料支出	10,542	10,912	△ 370	宿泊費減のため
	18	租税公課支出	1,656	1,725	△ 69	
	19	保守料支出	25	25	0	
	23	雑 支 出	6,674	6,980	△ 306	PCR検査キット購入費減
	事業活動支出計		37,260	37,329	△ 69	
242	事業区分間繰入金支出		957	816	141	
	01	スポ文関係事業事業区分間繰入金支出	957	816	141	
	その他の活動支出計		957	816	141	
248	予備費支出		100	100	0	
	資金当期支出計		38,317	38,245	72	
	当期資金収支差額合計		△ 660	△ 654	△ 6	
前期末支払資金残高(見込)			9,909			
当期末支払資金残高			9,249			

令和6年度 熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局拠点区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
 熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局拠点区分
 (単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A - B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
267		受託事業収入	3,313	2,815	498	
	01	受託事業収入	3,313	2,815	498	
		05 熊本県スポーツ文化協会事務局受託収入	3,313	2,815	498	スポ文協会より
		事業活動収入計	3,313	2,815	498	
		資金当期収入計	3,313	2,815	498	

令和6年度 熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
 熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局拠点区分
 (単位：千円)

(支出の部)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201	人件費支出		2,371	2,264	107	
	05	非常勤職員給与支出	1,947	1,854	93	給与改定による増
	07	退職給付支出	134	134	0	
	08	法定福利費支出	290	276	14	
203	事務費支出		256	231	25	
	01	福利厚生費支出	19	19	0	
	02	職員被服費支出	6	6	0	
	10	通信運搬費支出	0	4	△ 4	
	14	手数料支出	9	9	0	
	16	賃借料支出	8	8	0	
	18	租税公課支出	189	160	29	
	19	保守料支出	25	25	0	
		事業活動支出計	2,627	2,495	132	
242	事業区分間繰入金支出		638	272	366	
	02	スポ文協会事務局事業区分間繰入金支出	638	272	366	本部人件費・事務経費負担分
		その他の活動支出計	638	272	366	
248	予備費支出		48	48	0	
		資金当期支出計	3,313	2,815	498	
		当期資金収支差額合計	0	0	0	
前期末支払資金残高（見込額）			1,828			
当期末支払資金残高			1,828			